

鹿島学園が優勝

▽1回戦 つくば秀英133-51水戸西つくば工科67-46緑岡
水戸桜ノ牧70-67水戸啓明 下妻
一75-47鉾田一、下妻73-60電
ヶ崎、竹園82-69総和工、土浦

二64-46吉河一、水戸工100-45土浦三、常磐大高107-60多
賀、牛久76-53境、取手68-65
中央、茨城86-75水戸一、太田一
112-48取手松陽、鹿島学園83
-57日立工、那珂77-72水海道一、
土浦日大139-46波崎

【女子】

▽1回戦 下妻97-55鉾田
二、常磐大高107-44太田一、
下館63-40水海道一、つくば秀
英76-58吉河三、水城131-33
八千代、電ヶ崎130-45那珂
鉾田一88-25水戸啓明、明秀日立
134-57取手一、取手280-66
下妻一、水戸86-45石岡一、水
戸養陵101-49日立北、多賀1
10-33水戸三、大成女108-
55吉河中教校、麻生93-39土浦一、
中央90-32日立一、土浦日大10
3-36取手松陽

鹿島学園が優勝

女子サッカー



県高校総体

女子サッカーの県高校総体は10日、ひたちなか市総合運動公園陸上競技場で決勝が行われ、鹿島学園が延長の末、霞た。

▽決勝 35分ハーフ
鹿島学園 10-00 霞ヶ浦
延長
0-0

▽得点者 【鹿】清水延前8分

清水、延長で決勝点

足を負傷も
懸命にプレー

○：総力を尽くした鹿島学園が、延長戦を制し、頂点へ駆け上った。

霞ヶ浦―鹿島学園 延長前半8分、決勝ゴールを決める鹿島学園・清水(9)＝ひたちなか市総合運動公園陸上競技場

試合ではサイドを中心に攻め込んだが、相手GKの好セーブにも阻まれ、ゴールをこじ開けられずだった。迎えた延長前半8分、右CKを相手GKがはじいたこぼれ球に、MF清水菜々羽(3年)が飛び込み、頭で決勝点。「決める自信があった」と胸を張った。今大会はチーム内で体調不良者が続出。1回戦ではメンバーが1人しかそろわない状況で試合を強いられた。決勝で殊勲のゴールを決めた清水は「足を負傷しながらのプレーだった。晝間健太監督(27)は「チーム一丸の優勝」と満身創痍の選手らをたたえた。

関東大会ではまた勝利がない。指揮官は「強豪校相手に胸を借りるつもりで戦いたい」と決意を語った。